

スポーツYAMATO



交流節2連勝の立役者
やっただせ長尾

交流節2試合目花王との一戦は点の取り合いとなる試合展開となった。そんな中、大和電機は3回表の満塁のチャンスを手に入れた。すかさず杉野監督は4番打者車キヤプテンに代えて代打を告げた。『背番号23長尾明奈』が場内アナウンスに流れた。杉野監督はこの様な場面を想定して長尾にはチャンスが来たら行くぞと事前に告げていた。このチャンスに長尾は『色々考える前にとにかくがむしゃらにボールに食らいつく』と自らに言い聞かせて打席に入った。追い込まれても粘りを見せた長尾は、少し高めに入ったストロークを思い切りよく振り抜き、打球はライト線を一直線に伸びた。2点タイムリー2ベースヒットはこの試合の決勝打となり、チームを2連勝へと導く大きな1打となった。長尾は今年初めにちよっとした病気を患ってしまったが、思うように練習ができず、出遅れてしまったが、元々身体能力は高く、将来的にはチームの中心選手として活躍できる選手の一人であり、この日の長尾の活躍はチームにとっても大きかっただろう。試合は7回表に堀、宮崎、村井、上原、古賀の連打で5点をもぎ取り、結果的には



2戦目は点の取り合いとなり、早めの継投で2番手の古川が好投した。マウンド度胸満点の古川は自らピッチャーゴロを1塁に悪送球を投げるミスもあったが、相手打線を見事封じ込めて公式戦初の勝利投手に。猛暑でも汗をかかない古川がチームの救世主となった。

古川初勝利

11・5で勝利した。猛暑の中、ダブルヘッダーで何とか2連勝を勝ち取ることが出来たチームは破竹の7連勝を達成。この勢いで交流節最終戦、厚木との一戦も勝利して交流節3連勝を飾ることが出来るか?この日のヒロイン、1戦目の新海と2戦目の長尾に注目して頂きたい。